

様式（第3条関係）

東京都とうきょうすくわくプログラム推進事業活動報告書

所在地	東京都練馬区中村 3-3-9
園名	ベネッセ中村橋保育園

1. 活動のテーマ

<テーマ>

色々な素材で感じて、学んで。

<テーマの設定理由>

自園の子供たちに色々な素材を知り感じてもらうために今年度は水・砂をクローズアップしてみました。園庭は99人の園児数にしては狭い園だが砂場遊びが盛んで子供たちも盛り上がる活動なので砂場活動をさらに広がりを持たせるためにテーマに設定し子どもたちの五感に働きかけて砂場全体を使った作品づくりに取り組みました。

2. 活動スケジュール

- 1, ふしぎな噴水あそび水の力の導入
- 2, 水遊び、プール遊びの中で自由に遊びを広げる。
- 3, サンドアートセット、キャッスル砂型、土台砂型セット、サンドローラー、時サンドクリーン、細目砂の準備、導入
- 4, 子どもの興味関心に基づいて遊びを展開していく。

3. 活動のために準備した素材、道具及び環境の設定

ふしぎな噴水あそびで子ども達が自由に遊べるようカラーボールなど興味が出そうな素材を用意する。

砂場で使用する道具は子供たちが使いやすいように設定し砂についても水の量を調整して掘り起こし使いやすいように設定する。

4. 探究活動の実践

ふしぎな噴水あそびで水の勢いやカラーボールを使って水の力や光の変化を体験できるように準備する。砂遊びでは砂場に色々な道具を用意しサラサラの砂、湿った砂、泥など状態の変化による感触を体験する。

<活動の内容>

ダイナミックな水の流れ噴水から出る水の流れや音、光の反射などを体験し五感を育む。
水に触れる中での「どうして?」「なぜ?」を体験する。
山型バケツ型抜きなどの道具を使ってお店屋さんごっこやお城作りなど見立て遊びを行う。
砂を掘ったり運んだり手で握って感触を楽しみながら子ども同士の発想で考え発展する。

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

「キラキラしてきれいだね」「カラーボールはどうしてうくのかな?」「冷たくて気持ちいいね」など水に触れる中でのふしぎを体感し「冷たくて気持ちいいね!」など体感が言葉となって会話になっていた。砂遊びでは子ども同士で考え「砂がさらさらで形にならないよ」「砂を水で濡らさないだよ」「バケツに水入れて持ってきて」などの会話がとびかっていた。大きな水たまりを左官屋さんの様に平らにしてプロのような仕上がりの園庭になっていた。



5. 振り返り

<振り返りによって得た職員の気づき>

取り組みを始めた頃は水、砂、泥に入って遊ぶことを躊躇していた子どもや手足が汚れ濡れることを嫌がっていた子どもも居たが、友達が遊んでいる姿を見て一緒に遊び出した。活動していく中で子ども達の中でもなんとなく役割分担が生まれ道具を譲り合うなどコミュニケーションを図りながら遊ぶ姿が見られた。感触遊びを通して子供たちの思いがけない言葉や発想力に驚かされた。大人がすぐに答えを教えるのではなく子どもの気づきや発見」を大切に保育者も一緒に考えて探求していく。